



令和4年9月21日発行 vol:11

【本日第2902回例会】★テーマ「イニシエーションスピーチ」

豊田 潤弐 会員・手塚 俊彦 会員

会長挨拶 会長 井川 潤



最近、世界同時不況目前かというニュースを見ました。現在の物価高の要因の一つになっているのが円安ですが、先週一時144円まで円安が進みました。こうした中で、にわかにはささやかれ始めたのが世界同時不況と言うキーワードです。先週 IIF 国際金融協会のチーフエコノミストが、世界同時不況が目前に迫っている発表しました。その理由とし、まず、アメリカはインフレ対策として急速な利上げを行って、今後景気が落ち込む可能性がある。そしてヨーロッパはウクライナ情勢によるエネルギー不足に陥っていて経済活動に大きな影響が出ている。さらに中国は今もゼロコロナ政策をおこなっており経済が低迷している。また日本についても物価高やコロナの影響もあって景気が後退している。これらが同時に起こると、世界同時不況になる可能性があると言われています。私たちは、過去に世界的な金融危機を経験したかと思えます。まずは IT バブルで、1990年代後半から2000年代初頭にかけて、アメリカを中心に発生した情報通信関連企業の株価の急騰とその後の急落を指しています。その後、ITバブル崩壊後の景気低迷を受けアメリカの中央銀行は政策金利を2000年の6.5%から2003年には1%まで急激に引き下げました。この急激な金融緩和によりアメリカでは住宅投資が活発化し景気を持ち直すのに成功。しかし、景気拡大によりインフレ懸念も高まり、2004年6月には政策金利の引き上げ、つまり金融引き締めを開始。金利の引き下げで活性化した住宅市場は金利の引き上げにより悪影響を受け始めます。当時のアメリカでは投資家の運用ニーズを満たすべく様々な金融商品が開発され、その中でも銀行の住宅ローンを担保とした不動産担保証券 MBS がアメリカの住宅ブームとともに残高が拡大。このような不動産担保証券にはサブプライムローンと呼ばれる住宅ローンが含まれておりました。サブプライムローンとは返済能力が低い方が融資を受ける事ができた住宅ローンです。そのサブプライムローンは当初支払い金利が低かったのですが、一定期間を過ぎると金利が上昇するような条件のものも多くありました。それでも当時は住宅ブームで住宅価格が右肩上がりの状態だったので、借り手は有利な条件でローンの借り換えができて、また担保である住宅を売却して利益を出すこともできました。しかし、2006年の金融引き締めにより、金利が上昇し始めると、住宅価格は下落に転じ、返済が滞る借り手が急増しました。その後、住宅ローン、とりわけサブプライムローンの借り入れの延滞率が顕著に上昇し、同時にサブプライムローン証券化商品の価格が暴落していきました。サブプライム関連の証券化商品は世界中に販売されており、世界中の金融機関で損失が拡大する懸念が高まりました。そして欧米の銀行間金利が急激に上昇し、金融市場が麻痺する事態になりました。そこに、2008年9月にアメリカ第4位の投資銀行であるリーマンブラザーズが突然、経営破綻に陥りました。アメリカでも屈指の投資銀行が突然破綻し、金融市場は大混乱に陥り株価が大暴落しました。これがサブプライム問題リーマンショックと言われる金融危機の顛末です。ITバブルが発生した理由はアメリカの金融緩和で、ITバブル崩壊の引き金は金融の引き締め。サブプライム問題に至る住宅ブームも金融緩和で引き起こされ、その崩壊も金融引き締めで起こった。ITバブルもリーマンショックからの回復は中央銀行による金融緩和が大きな役割を果たした。金融市場で同じことが繰り返されています。今回もコロナで落ち込んだ景気回復に量的緩和を行い、インフレ傾向になると金融引き締め。アメリカは何かまた同じ事を繰り返しているように思われますね。日本では、インフレ傾向にありながら、景気後退の恐れから金融引き締めに踏み込めず、結果アメリカとの金利差から円安に歯止めがかからない状況です。人の話を聞きすぎるのか、今後の岸田さんの手腕に期待したいところでもあります。

浦和北ロータリークラブ週報

事務局/〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-1-2 YK21 2F

例会日/水曜日 点鐘 12:30

会長/井川潤 幹事/宮島誠 会報委員長/白岩智

創立/昭和36年12月1日 承認/昭和36年12月29日創立

電話/048-813-8075 FAX/048-813-8076

例会場/ロイヤルパインズホテル浦和3Fゴールドルーム

office@urawakita-rotary.jp http://urawakita-rotary.jp

ホームページに会報を掲載↑

幹事報告

幹事 宮島 誠



- ★8月ロータリーレート1US\$=133円
  - ★前回例会後から本日迄のイベント
  - 9月7日(水) 12:10~ (パインズH 3階): ガバナー公式訪問
  - 9月7日(水) 18:00~ (ディーjay 2階): 親睦委員会
  - ★本日例会後からイベントの予定
  - 9月14日(水) 18:00~ 浦和パルコ10階 (浦和コミュニティセンター 第14集会室: 第6回理事役員会)
- ※コロナ感染者増加傾向を注視して活動開催を行わせて頂き、また、状況に応じて開催中止と対応させて頂きたく思っております。

【9月7日例会の様子 ロイヤルパインズホテル浦和 3階ゴールドルーム PM12:20~】



【9月誕生祝・景山会員】 欠席: 増田吉彦会員、沢田良会員



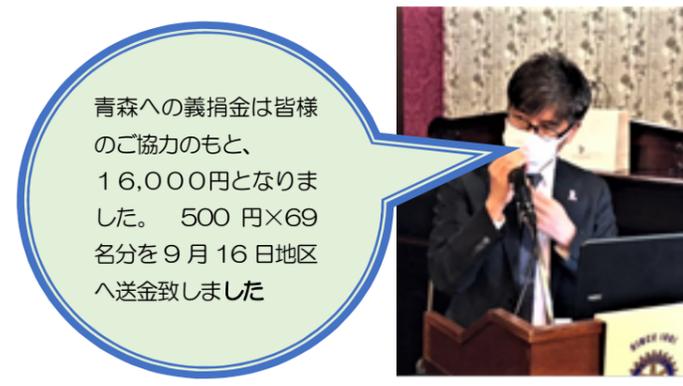
【ロータリー財団について説明: 泉谷R情報管理運営委員長・松島副会長】 説明の概略は別紙にて(クラブHP会報一覧にも載せています)



【社会奉仕委員長: 齋藤武会員】



【社会奉仕委員会; 皆登会へ視察】



青森への義捐金は皆様のご協力のもと、16,000円となりました。500円×69名分を9月16日地区へ送金致しました

facebook



Instagram



Rotary



Topic!

2022-23年度国際ロータリー第2770地区チャンネル 『未来の扉』 CLUB DIGEST8月号